

『都市の経済学 小テスト No. 3』 (1問1点、8点満点)

以下の各問に答えよ。解答はマークシート方式となっている。

※□で囲まれた数字は解答番号を示す。○で囲まれた数字は選択肢番号を示す。

問 1. 予算制約線について

- 1.1. ある人の予算制約線は図の  $C'$  であるとする。合成財の価格を 1 円/個とすると、この人の予算総額は□1 (①100、②200、③3000、④10 万、⑤20 万、⑥30 万、⑦その他) 円である。また、この人が直面している賃貸市場では 1  $m^2$ あたりの家賃は□2 (①100、②200、③1500、④3000、⑤15 万、⑥30 万、⑦その他) 円である。
- 1.2. 予算制約線上の全ての財の組合せは、購入することが□3 (①可能、②不可能、③不明) である。

問 2. 最適な消費について

- 2.1. 最適な消費をしているとき、予算制約線と無差別曲線は□4 (①交わらない、②1点で接する、③2点で交わる、④同一の曲線になる、⑤その他)。
- 2.2. 図で予算制約線が  $C_1$  のとき、達成できる最も高い効用水準は無差別曲線□5 (① $U_1$ 、② $U_2$ 、③ $U_3$ 、④ $U_4$ ) である。
- 2.3. 2.2.の問題において、お金が不足するために選ぶことのできない無差別曲線は□6 (① $U_1$ 、② $U_2$ 、③ $U_3$ 、④ $U_4$ 、⑤ $U_1$ と $U_2$ 、⑥ $U_1$ と $U_2$ と $U_3$ 、⑦その他) である。
- 2.4. ある人の予算制約線はもともと  $C'$  であった。家賃水準が変化することで、予算制約線が  $C_1$  にシフトした。この時、1  $m^2$ あたりの家賃は□7 (①100、②750、③1500、④7.5 万、⑤15 万、⑥その他) 円である。
- 2.5. 補助金を受けることで予算制約線が  $C_1$  から  $C_2$  へと移動し、達成できる効用水準も図の通りに変化した。この補助金は□8 (①住宅ローン控除、②家賃補助、③子ども手当、④所得補助) である。

削除: □9

図. 無差別曲線と予算制約線

